参院選出発式　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０１３．７．４　　　　江上

　お忙しい所お集まりいただきありがとうございます。比例候補の江上博之です。井上さん、もとむらさんと比例5議席、そして、愛知選挙区議席獲得に全力を尽くします。どうぞ、ご支援をお願いします。

　景気は良くなってほしいけれど、物価だけ上がって、収入が増えなかったら大変だ。その不安が的中してしまいました。燃料費が上がり、食料品が上がり、小麦粉が上がって、パンや牛乳まであがる。上がらないのは、賃金だけだ、年金だけだ。みなさんの声ではないでしょうか。大企業だけもうけて下請け中小企業が苦しむ。大金持ちはもうけて、私たちの所得は増えない。ますます、格差が拡大しています。これが、アベノミクスです。じゃあどうするのか。その対案を示し、実現することが今回の選挙です。第1に、大企業の内部留保にメスを入れ、みなさんの所得を増やす景気対策をすすめます。第2に、財政危機の原因は、バブル崩壊後の公共事業による多額の借金です。アメリカの言うことを聞いて進めた自民党政治、儲けたのは、大企業と銀行です。はっきりしていることは私たち市民庶民には全く責任がありません。ところが、福祉や市民サービスが借金返済のためといってどんどん削られました。責任者に責任を取ってもらいましょう。消費税増税ストップし、税金の使い方と税制改革をすすめ、景気回復とともにお金があるところから税金を集める政策をすすめます。

　日本共産党を大きくして、今回の参院選では、暮らしと経済、原発、外交、憲法、そして、歴史への逆行、あらゆる問題で、自民党の悪政に対し、抜本的対案を掲げ、みなさんの声を国政に届けるために全力を尽くします。

そこで出てくるのが、話はわかったが、共産党というのはどうも、という声です。今の大企業が労働者、中小企業をいじめ大もうけする生産でなく、労働者、中小企業がともに生み出す、もっと自由を謳歌し個性を生かす社会、この未来社会をめざしながら、今のアメリカ言いなりでなく、アメリカと対等平等な関係を結ぶ。大企業中心でなく、大企業の役割もありますが、労働者の役割もあります、中小企業の役割もあります、それぞれの役割を認めあうルールある経済社会をつくろうというのが日本共産党に込められた思いです。この思いを大いに語り、21日まで全力を尽くします。ありがとうございました。（958字）